

一般社団法人ロボカップジュニア・ジャパン 2025年度第1回理事会議事録

1. 日時：2025年2月22日（土）10:00～12:10
2. 場所：大阪市北区豊崎3-20-1インターグループビル ZoomにてWeb会議
3. 出席者
 - (1) 出席者 10名 大橋健、水野勝教、今井俊二、島谷太、森重智年、野村泰朗、松山森仁、政岡恵太郎、瀧本英智、田中宏明（監事）
欠席者 1名 中島晃芳
 - (2) 理事以外の出席者 2名
前田正久（事務局長）、休場万喜（事務局）
4. 議事
 1. 2024年度事業報告（案）、収支決算報告（案）
 2. 2025年度予算（案）
 3. 理事改選について
 4. ジャパンオープン2025名古屋大会について
 5. Webサイトリニューアルについて
 6. RoboCup2025 Salvadorへの対応について
 7. 理事会議事録署名要件にかかる定款変更案
5. 資料
 - 資料1-1. 2024年度事業報告書（案）
 - 資料1-2. 2024年度収支決算報告（案）
 - 資料2. 2025年度予算（案）
 - 資料3. プロフィール
 - 資料4. RCJJ Webサイトリニューアル企画提案公募、及び、審査報告書
 - 資料5. ブラジルツアー見積書
 - 資料6. 理事会議事録署名要件にかかる定款変更案
 - 資料7. スポンサー提案書
6. 議事概要
 - (1) 議長の選出
 - ① 大橋代表理事が議長に選出され開会を宣言し、本理事会は、定款第18条の規定を満足しており、成立していることを報告した。
 - (2) 2024年度事業報告（案）、収支決算報告（案）
 - ① 島谷理事より、資料1-1に基づき2024年度事業報告書（案）および資料1-2に基づき収支決算報告（案）について説明を行い、審議の結果、満場一致で承認された。
 - ② 田中監事より、2024年度事業報告書および収支決算書を監査した結果、いずれも適正かつ正確であったとの報告がなされた。
 - (3) 2025年度予算（案）
 - ① 島谷理事より、資料2に基づき、2025年度予算（案）の説明がなされた。2024年度予算で計上したが執行されなかった公式HPの製作等と前回理事会で要望の上がったフィールド改修費を加えた150万円を予備費として計上した。また前年は、2023年けいはんな大会で収益が上がったことから消費税を支払ったが、今年は前年の収入が1,000万円を下回ったため、今年度の予算案に消費税の支払いは計上していないとの説明がなされ、満場一致で承認された。
 - (4) 理事改選について
 - ① 競技運営、OnStage担当の中島理事は、今期で退任することから、OnStage技術委員長の梅田寛康氏を新理事に推薦した。OnStageを中心に技術委員会、大会運営にも従事しており、資

料3からも理事に適任と判断できることから、梅田氏と現理事9名（大橋氏、水野氏、今井氏、島谷氏、野村氏、森重氏、松山氏、政岡氏、瀧本氏）を次期理事として、総会で諮ることとなった。

(5) ジャパンオープン2025名古屋大会について

①今井理事より、メールの容量が制限に達したため、2月9日以降のメール受信ができておらず台湾チームのRegistration Formを見逃す事案が発生したとの報告がなされた。結果として、チームは審査を辞退し、シンガポールオープンへ参加することとなった。対策として容量を1Gに増量、迷惑メールを削除した。また、添付資料が大容量の場合はFormで受け付ける案も出された。

②野村理事より、交流会について、各リーグで予定されている企画や要望について意見を求めた。松山理事より、サッカー技術委員会では、3日目の試合終了後から表彰式の間、希望者によるエキシビジョンマッチを組む予定をしている。森重理事より、昨年レスキューは3日目の試合終了後、実際の動作確認、ミーティング、プレゼンをした。野村理事より、交流会は2日目5時半～6時半の間で、元世界大会出場チームの話、各リーグからのプレゼン、エントリーリーグの内容を共有できる場にしたいとの説明がなされ、各リーグに対し、終了時間の調整や元世界大会参加者の協力を求めた。森重理事より、早い時期に交流会開催の告知をするよう要望がなされた。今井理事より、2日目の試合時間の調整が難しいのであれば、1日目に前夜祭として開催してはどうかとの提案がなされた。野村理事より、1日目は来場していないチームもあり、参加者にアンケートをとるなどして、次回の参考にしたいとの回答がなされた。

(6) Webサイトリニューアルについて

①今井理事より、資料4に基づき、Webサイトリニューアル企画の公募、審査結果、今後の進め方について説明がなされた。公募は2025年1月9日から1月31日まで行われ、応募件数はkemarintech政岡恵太郎氏（RCJJ理事）1件であった。政岡理事を除く理事7名が、Webフォームの審査項目（企画提案書の内容、デザイン、作業スケジュール、見積書、会社情報）に5段階評価とコメントを記載し、審査した結果、Kemarintech社を発注先として適格と評価し、総会で諮ることとなった。今井理事より、現行のWebページの保守と運用はシステム担当理事が行っており、人的リソースの費用は発生していない。今後これらのメンテナンス業務を委託するか、RCJJ内で保守運営できる仕組みにするか検討が必要である。また、今後、個人情報管理することになった場合を考慮し、サーバー選びは慎重にするべきとの意見がなされた。松山理事より、Webに使用する素材の使用許可、素材の撮影費用、保守、運営を委託した場合の概算見積、支払い条件等についても確認する必要があるとの意見がなされた。現行の同意書は、本大会の情報発信・記録等に限定されており、Webページへの使用は適用の範囲外である。今井理事より、同意書の見直しは今後検討するとし、今回は各個人から許可を取る必要があるとの意見がなされた。

(7) RoboCup2025 Salvadorへの対応について

①事務局より、資料5に基づき、ブラジル・サルヴァドール世界大会のツアーについて説明がなされた。ブラジルは治安に不安があるため、推薦するチームの安全を考慮し、株式会社JTbに航空券、宿泊、送迎、添乗員付ツアーの企画を依頼し、見積書を2パターン提示頂いた。結果、高額ではあるものの、ロストバゲージの可能性がより低い乗り換え1回、かつ査証が必要ない路線で7泊9日の旅程で進めることとなった。政岡理事より、現地ではホテルと送迎を準備する可能性があるとの報告を受け、宿泊無しの見積もりを再度お願いすることとなった。また、大橋代表理事より、メジャーの参加者にもツアーを告知することはできるとの意見がなされた。

(8) 理事会議事録署名要件にかかる定款変更案

①瀧本理事より、現行の定款第5章第34条では、議事録署名人は出席した2名の理事が署名、捺印することになっているが、これは一社法に順じておらず変更する必要があるため、出席した理事および監事が署名、または記名押印する変更案が出され、総会で諮ることとなった。

(9) その他

①水野専務理事より2026年の大会開催候補地について、意見を求めた。政岡理事より、意欲のある自治体はあるが、予算請求が必要なため2026年には間に合わないが、2027年であれば可能性はあるとの意見がなされた。水野専務理事より、自治体での開催が難しい場合、大学に会場の提供をしてもらい、RCJJが主体となって開催する案があるとの意見がなされた。田中監事

より、資料7に基づきスポンサー獲得の説明がなされ、自治体から会場の提供があれば、獲得したスポンサー料で自費開催することができるとの提案がなされた。島谷理事より、大会運営費の大部分は、会場費、什器備品費、電気設備費であり、会場を自治体や大学に提供してもらえるのであれば、大会開催は可能であり、田中監事の案に賛成するとの意見がなされた。会場提供について、水野専務理事が大学と交渉することとなった。

②今井理事より、2024年は理事会の開催が少なかったため、増やして欲しいとの要望がなされた。特に大会後のアンケートに対する検討が不十分であり、ブロック長会議でも十分な回答をすることができなかった。

③今井理事より、けいはんな大会ではサッカーのスコアリングシステム、会場のシステム周りの費用を政岡理事が個人負担したケースがあった。スポンサーが獲得できれば、今後は費用を請求する必要があるのではないか。またその際、RCJJが主催となった場合、利益相反にあたるため総会に諮る必要があるのではとの意見がなされた。大橋代表理事より、けいはんな大会は名古屋大会中止を受けての緊急開催であったため、スタッフやボランティアの方々に大きな負担をかけてしまったが、今回は十分な準備期間があるので、開催委員会を立ち上げ、場所を提供して頂ける大学や自治体と連携して運営することができるので、主催には当たらないのではないかとの意見がなされた。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2025年2月22日

議長 大橋 健



理事 水野 勝教



同 今井 俊二



同 島谷 太



同 野村 泰朗



同 森重 智年



同 松山 森仁



同 政岡 恵太郎



同 瀧本 英智



監事 田中 宏明

